

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第 68 号 (2012. 10. 31)
事務局川西地区自主防災会

トリアージ

回生病院(坂出市) 救急センター
乙宗 佳奈子

みなさんは「トリアージ」という言葉をご存じですか？ 語源はコーヒー豆などを選別するという意味のフランス語“Trier”です。

現在は多数の傷病者が発生する事故、災害などで、より多くの傷病者を救命するために、緊急度、重症度を評価し、救護、搬送、および治療の優先順位を決定する方法を「トリアージ」と言っています。



トリアージには様々な方法があります。例えば病院の救急外来、外来に来た患者さまと救急車で来た患者さまが多数いる場合、来た順番ではなく診療の順番が変更されることがあります。これはどの患者さまが最も重症で緊急性を要するか、看護師による問診や全身状態の観察からトリアージを行った結果です。

今回は病院内ではなく現場でのトリアージについて紹介したいと思います。

医療従事者や消防などで行うトリアージについては様々な方法が紹介され実用化されていますが、一般市民のためのトリアージとして確立されたものはありません。みなさんに知って頂きたいのはトリアージという概念があるということ、医療需要が供給を上回った状況で消防、医療従事者の多くはその概念に沿った医療を行う体制に切り替わる、ということです。また多数傷病者が発生するような事故、災害の現場では市民、消防、警察、行政機関、病院などの多数の機関が共通の認識を持って連携することが必須です。トリアージの概念も円滑な連携活動を行うのにきっと役立つと思います。

平成 24 年 10 月 6 日、小豆島の淵崎小学校で行われた防災訓練に参加してきました。

対象は小学生とその保護者です。2010 年、2011 年と城辰小学校で行われたトリアージに続き当院が参加する小学生へのトリアージ講義としては 3 回目になります。今回は消防による心肺蘇生法や応急処置体験、川西地区自主防災組織によるダンボールによる居住空間作り体験等と併設してトリアージ講義 30 分で 3 回行いました



写真：医療従事者によるトリアージ訓練

【トリアージ区分】

- ・赤：緊急治療群（致命的）
すぐに治療を行わないと死亡する生命の危機的状況にある人。
- ・黄：待機的治療群
重症だが短時間なら状態は安定、2～3時間なら治療を遅らせても悪化しない人。
- ・緑：軽症群＝致命的ではない人
帰宅可能な人、もしくは最後に治療を行っても大丈夫な人。
- ・黒：死亡群
生命兆候がなくすでに死亡している人。もしくは明らかに救命の可能性がない人。

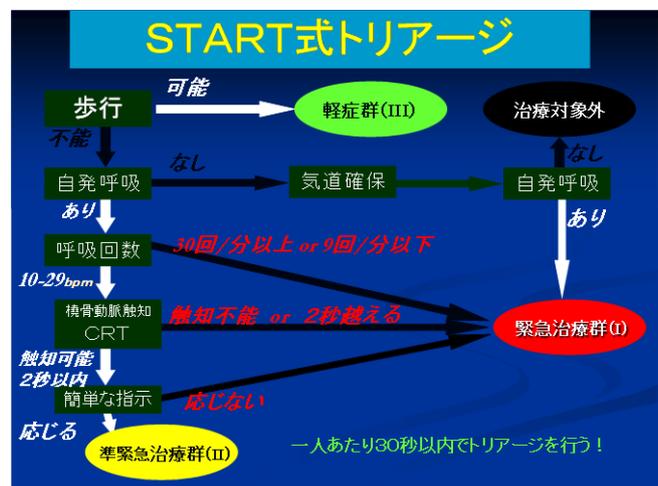
トリアージでは歩行可能かどうか、呼吸はできているかどうか、循環は保たれているかどうか、意識状態はどうかという4つの観点から赤、黄、緑、黒に色分けし、手首に写真のようなタグをつけます。

たくさんの方がけがをした状況を想像してください。自分も骨折をするかも知れません。体中が痛いかもしれません。そんな中で救急車や救命士さん、医者の数、医療資源の数は限られています。なるべく多くの人を助けるためには「我先に。」ではなく、今すぐに処置を行わないと死んでしまう人から処置、搬送、治療を行うようになります。トリアージはそのための方法です。現場での混乱をなくすためにも市民の方々にもこの概念を理解していただき災害時、事故などの多数傷病者発生時には共通の認識をもって救助、救命活動にあたることができれば幸いです。

実際に実習を行わないと難しいところもありますがトリアージの方法の一例を下記に示します。

またみなさんと一緒に訓練できる日を楽しみにしています。

この度はこのような機会を与えていただきありがとうございました。



坂出市内浜西自主防災会のご紹介

1. 組織概要

- (1) 会長：横川 日佐夫氏 63歳、造園業
趣味は、庭園・温泉巡り、読書 アルコールは、ビール2～3本
- (2) 組織人員 25名
職業別：自営業 5名、サラリーマン 6名、その他 14名
平均年齢：61才（最高齢は80才 最年少は36才）
- (3) 活動開始：平成19年4月より
- (4) 設立のきっかけ：自治会長の要請により
- (5) 組織の特長：自治会、副会長3名 会計、運営委員6名
その他通常の自治会運営のメンバーが組織を組んだ為、非常に仲が良い。
明るく楽しく防災を。

2. この3年間の取り組み概要

- 2か月に1回の防災会議
- セミナー、県、市の主催する会への積極的参加
- 八幡神社における自主防災訓練
- みどり保育園との防災合同訓練、また視察
- 徳島、神戸の防災施設旅行



※11月18日(日)9時～12時 坂出八幡神社境内において、内浜西自主防災会 防災訓練を行います。

- 訓練内容：①消火訓練②担架③AED、心臓マッサージ④ロープ結束
⑤防災機具、家具転倒防止用品の説明
⑥バケツリレー

◎炊き出し

(カレーライス、おかわり自由です)

雨天時は西集会所にて、* AED、心臓マッサージ*防災ビデオ*炊き出し



3. 今後の課題

- 近隣の自治会（内浜東、内浜中、田尾）等自治会の防災会の立ち上げの手助け
- 集会所の耐震を行い、避難所として設備の充実を図りたい。

かがわ自主ぼうの事務局を担当している「川西地区自主防災会」最近の活動を紹介します。

(1) 子供達に元気をいただく

最近「出前研修」と「出前訓練」が多く、川西自主ぼうも、ややへバリ気味です。そんな中、キチンとカリキュラムをこなしてくれた、小学生児童皆さんのけなげな取り組みに元気をいただいています。



○琴平町榎井小学校区での訓練（10月28日実施）

(2) 10月は神社の例大祭行事がいっぱいです！

私供（岩崎正朔）の氏神である「八幡神社」では10月20日（土）～21日（日）において、とり行われました。

責任総代の立場としてお祭りを盛り上げると共に厳粛さを追及するため、「羽織、はかま」姿によって式典をとりしきりました。

10月 4日～5日 川西天満宮
10月20日～21日 八幡神社
10月15日～16日 稻荷神社



編集後記

今月の防災減災の輪は、回生病院救急センター（坂出市）の乙宗先生より、トリアージについての原稿をお寄せいただきました。又、内浜西自主防災会のご紹介も合せてさせていただきます。誠にありがとうございました。